

# 編集室

\* 近頃、ビジネスの世界でも「生成 AI」についてよく耳にするようになってきました。実際に妻の会社でも生成 AI に興味があるようです。外部講師を招いた生成 AI に関する説明会が開催されたとのことで、それに参加した妻も「エクセルの表計算を自動化してくれるコードを作ってくれるんだって！ 英訳もすごい自然な文章らしいよ！プレゼン用のパワーポイントもすぐに生成 AI が作ってくれるんだって！」と興奮気味でした。しかしながら、生成 AI を実業務に使用するにあたって潜在するリスクが見極められないことから、説明会以降は社内ルールの整備を含めて何の進展もない状況とのことです。使い方を間違えた際の機密情報流失等、セキュリティ面で重大なリスクがあるという共通認識ができつつある一方で、生成 AI に特化

したリスク対策に関する議論も着実に進められているものと思います。企業も個人も生成 AI を使いこなし、現時点では想像もつかない効率的で便利な社会が待っていることを期待したいものです。

\* 本号の小特集では「AI チップに向けた不揮発性メモリ技術とその展望」というタイトルで、AI チップの低消費電力化をもたらすことが期待されている不揮発性メモリの最新技術動向について御執筆頂いております。AI を活用したサービス、ひいては社会の発展を支える重要な要素技術の展望について解説されていますので、是非御一読頂ければ幸いです。

(編集特別幹事 中川雅弘)

## 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾（著作物の転載、翻訳等）に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

## Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce ; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail : [permission@ieice.org](mailto:permission@ieice.org)

Permission request form : <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>